巻 頭 言

初心にかえり 2 期目後半戦に臨む

茨城県立竜ヶ崎第一高等学校・附属中学校 校長 太田垣 淳一

「令和 3 年版 科学技術・イノベーション白書」によると、日本の国際的な研究力は低下の一途を辿っています。注目度の高い論文数は、20 年前に第 4 位だったのに対し、現在は第 9 位です。イノベーション力の国際的な指標である GII (Global Innovation Index) においても、日本は現在第 13 位にとどまっています。

「先進的な科学技術、理科・数学教育を通して、生徒の科学的能力や科学的思考力等を培い、将来の国際的な科学技術関係人材を育成する」ことを目的とした「スーパーサイエンスハイスクール (SSH)」事業の誕生が 2002 年度ですので、SSH はまさにこの凋落に歯止めをかけ、日本が華々しい復活を遂げるための重要な使命を帯びていることとなります。

本校としても、SSH に指定されて 8 年目が終わりつつあります。大学関係者のご指導と歴任教員の努力の甲斐あって、運営は安定してきました。一方で内容の面では、まだまだ伸びしろが残されています。国際的なサイエンティストの卵を育成するという点において、そしてサイエンティスト育成のための汎用の知財を開発するという点において、2 期目の後半戦に入るにあたり、私たちは上の使命を再認識し、新たな決意をもってプログラム運営にあたって参る所存です。

本書を手にとって下さったみなさまには、本校が SSH を通じて「一高」としての社会的使命を果たしていくための、温かいご批判・ご提案を賜れましたら幸いです。